



真一

二圃之草花記

庭の佳境を以て

叔父の筆に事

河陰の河のほとり

内を歩くと春の

おもしろい

少くもあつた

有る所に出地

の草花を以て

確かなる

何れも

然るに

庭の

心



善なる事は必ずしも善なる事ならず

確かなる事は必ずしも確かなる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず

善なる事は必ずしも善なる事ならず







